

ハムログマップ V2.6がついに登場!!

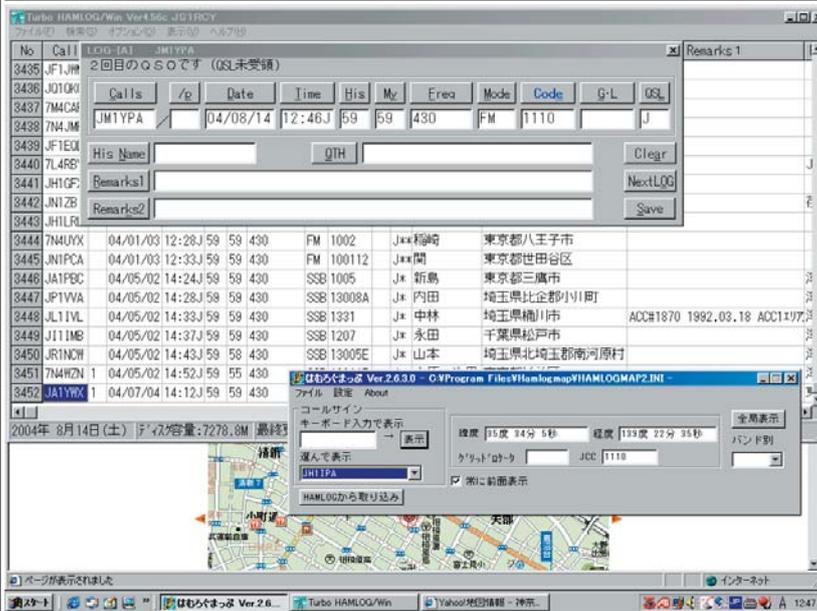
日汗工業新聞

編集所
SAGAMI-NET 新報社 山百合支店
神奈川県相模原市小山113-7122
〒229-1105 定価(税込) 0円

あなたのケータイから
今すぐアクセス!!



SAGAMI-NETホームページ



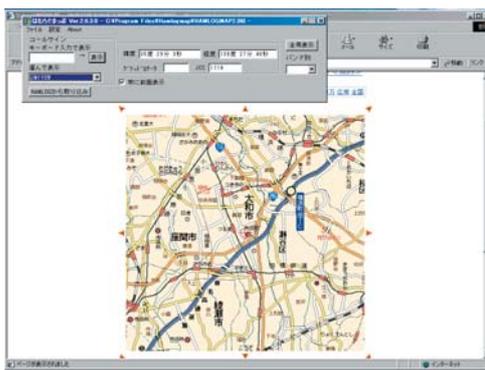
▲ TurboHAMLOG の入力画面からデータを取得して表示可能に!!

ハムログマップとは、国内で圧倒的なシェアを誇るログソフト「TurboHAMLOG」のQSOデータファイルを読み込み、任意の局、任意の周波数、またはデータがある全ての局について、その局の大まかな位置を地図ソフト「プロアトラス」の地図画面上にアイコンとして表示させ

ハムログマップって何?

「電波の向こうのあの人はどんな所に住んでいるんだろ、どの辺りで移動運用しているんだろ。」「今度自作したアンテナはどこまで交信できるんだろ。」ハムログマップを使えば、きっとその答えのひとつが見つかるはずだ。

なお、インターネット地図を利用する場合には特有の制限事項がいくつかある。まず一点目は、インターネット接続環境が必要であるということだ。たまたま移動先で使おうとしたら通信手段が無いような場合は「プロアトラス」が無いと全く役に立たずとなってしまふ。二点目は、表示可能な地域に制約があるということだ。Yahoo



インターネット上の地図サイト(Yahoo!)を利用した表示に対応!! 「はむろぐまっぷ」は従来から地図ソフト「プロアトラス」シリーズが必須とされてきたが、今回のバージョンでは「プロアトラス」だけでなく、インターネット地図サイト(Yahoo!MAPS)を利用して地図の表示を行うモードが用意されている。これにより、「プロアトラス」を持っていないくてもインターネットに接続できる環境さえあれば一定地域の地図を表示させる事ができる。

この機能を使うにはハムログのショートカットに別途オプションスイッチを指定すること、HAMLOG32.DLLをハムログマップのインストールフォルダに入れる必要がある。詳しくは3面に紹介されているので参照願いたい。

以前から念願であったTurboHAMLOG(以下ハムログ)との連動が今回のバージョンから可能になった。これは、QSO中にハムログにコールサインとJCC又はJCG+町村コードを入力した時点でハムログマップの「HAMLOGから取り込み」ボタンを押すと、リアルタイムで地図上にコールサインが表示されるという機能だ。これでQSO中に相手の地域を話のネタにすることができ、話が弾むことであらう。

三点目は、地図上に位置を表示できる局を複数局同時に選べないということだ。「プロアトラス」を利用する場合には「バンド別表示」や「全局表示」という使い方ができるが、インターネット地図を利用した場合は「任意の一局を選択して表示する」モードしか利用できない。これはYahoo!MAPSに対して一局分の位置情報しか通知できないためである。

TurboHAMLOGに連動した動作が可能に!!

SAGAMI-NET

JARL登録クラブ
(11-4-60)

神奈川県内を中心にインターネットやパケット通信などのニューメディアの利用を主として活動する団体で、無線に関するハードウェアやソフトウェアの開発・実験・運用を行っています。近年はFWD-NETとインターネットの相互運用実験や「はむろぐまっぷ」の開発、JARL神奈川支部大会への出展参加、支部主催行事への技術協力なども行っています。

SAGAMI-NET GROUP

- JM1YOW SAGAMI-NET 県央大和
- JM1YPA SAGAMI-NET 相模原AMC
- JM1YOV (移管手続中)

インターネット・ホームページ
<http://www.sagami-net.jp/>

イーカゲンでも「できるミリ波」

マイクロ波に染まって五年目を迎えたSAGAMI・NET町田研究所(代表 JF1TPR/熊野谿 寛)では、昨年からの製作をすすめてきた47Gランスバーターの一号機が一応完成し、至近距離ながらJSH1UVH/1との初交信に成功した。

47Gといえば、一波长がわずか6.3ミリとなる。さすがに同軸回路ではなく導波管を使っているのだが、工作は相変わらずのイーカゲンな目分量、穴あけはなんと手で持った二九八〇円なりの安物電動ドリルドライバを使っていている。

本人いわく、「局発が57M台のTCXOから定倍して1G台までは『高周波用実験基板』(片面ベタアースの穴あき基板)、その後、



キャビティで2Gにあげて、11Gまで5通倍基板を使ってあげ、さらに22G台にしてから20ミリワッ

ト以上にアンプする。後はローカルからもらってきたダイオードの1SS105をハーモニクスミキサーとして使っている。「合計するとウソみたいだが八〇〇通倍で動いている」とのこと。それにしてもミリ派の世界でクギでポンチを打ったり、手持ちのドリルで導波管を加工する輩もいないだろう。さらに町田研究所では51G帯のパソリンクのジャンクを入手して、通倍方式の47Gも製作予定との事である。さらには、75Gも今年中に作成することをめざしているとの事だが、この調子で波長3.9ミリが可能なのだろうか。

この他、今年のハムフェアには新型の5G/10Gのデュアルバンドトランスバーターの製作展示、SSTV-I/Fの製作展示などを予定している。皆さんの工作でもマイクロ波ができることを見れば、「なんだ誰でもできそうだな」と実感することうけあいである。

5G帯でも国内DX時代突入か?

5G帯では、二年前の上越国境付近での豪雨で発生したレイנסキヤッターによる東京・新潟間の台オープンに続いて、東京・横浜と富山(高岡)が新潟沖での豪雨を利用した通信に何度か成功している。また今年10G帯でも、横浜・富山がSSBでの交信と信号確認にたどりついた。この通信には、バックアップ回線としてのインターネット経由でのYAHOOチャットが存在、そしてウェブサ

イトでの東京電力その他が提供している雨雲・雨量情報の存在が非常に大きい。



さらに、しばらく静かであった東北方面からも、須賀川各局が5Gの運用を開始した。市内の移動運用からは、5Gにて町田ともSSBで53・53QSSBでの交信に成功した。八溝山の回折ではないかと思われるが、微妙なQSSBと音声の濁りが観測されている。二〇

キロメートル超の交信だ。もともと日本海側各局は、毎年五月から六月にかけては、日本海ダクトで北海道・富山など六〇〇キロメートル超の5G/10G/24Gの交信に成功している。また、四国各局は移動ながら富山とも5Gでの交信に成功している。これらと比べれば関東の固定局からの国内DX通信はまだ始まったばかりかもしれない。雨と台風、前線が接近すると、今日もマイク口族が天気図・レーダー画面とにらめっこしながら、交信の成否に一喜一憂していることだろう。

WordでオリジナルQSLカードを作る

SAGAMI・NETデザインでは、マイクロソフト社製ワープロソフト「Word」を使って簡単にオリジナルQSLカードを作れるテキストをまとめた。

昨今のパソコンブームでデジタルカメラで撮った写真を印刷する機会が多いが、この写真を利用してオリジナルデザインのQSLカードを作ってしまうというテキストである。

一般的にQSLカードは印刷業者に作ってもらうと最低でも五〇〇枚単位であるが、自分で作れば一枚からオリジナルQSLカードを作成することができる。各自の記念日や四季に合わせてカードを作れば、同じ相手局にでも気に入ってもらえるカードを製作できる。



このテキストは、これらの作り方が図解入りでまとめられているので、パソコン初心者でも簡単にきれいなオリジナルQSLカードが作れることうけあいである。

アマチュア無線のことなら当店まで
アマチュア無線全般・タワー・アンテナ施工工事

ハム月販 相模原店

〒229-0033 相模原市鹿沼台2-8-12 水曜定休
TEL 042-758-5144 営業時間 平日10時~19時30分 休日10時~19時

相模原市市制50周年 記念QSLカード
100枚 ¥700-
お求めは当店まで

SAGAMI-NET CD-ROM 2004

SAGAMI-NET CD-ROM 2004



ワードでQSLカードをデザインしよう
JF1TPRの「あぁ、JUNKY人生」
JG1UAAの「てきと～な日記」



ハムログマップ Ver2.6

PRC-117アニュアル日本語訳 (Section3のみ)

相模原市市制50周年記念アワード発行のご案内

©SAGAMI-NET / SAGAMI-NET CD-ROM製作委員会
COMPACT MANUFACTURED AND DISTRIBUTED BY SAGAMI-NET
このCDは、貸与許諾商品ですが、権利者の許諾無く複製等に使用することや、
趣旨の範囲を超える使用目的で複製することは、著作権法で禁じられています。

限定100枚

1枚500円

HAMLOGとハムログマップを同時に起動して使うための設定法

HAMLOGとハムログマップを同時に起動して使う場合、以下のような方法でHAMLOGを起動する時に「-S」オプションを付加する必要があります。

- 1) デスクトップ画面などにあるHAMLOG起動用のショートカットを右クリックします。
- 2) 「プロパティ」をクリックしてプロパティ画面を開きます。
- 3) 「リンク先」入力欄にある以下の様な記述
"C:\Program Files\HAMLOG\Hamlogw.exe" -i
の最後に、-S (半角大文字) を追記します。
(ディレクトリ名は環境により異なる場合あり)



収録コンテンツ

ハムログマップ Ver 2.6

ついにHAMLOGとの同時起動に対応しました。
インターネット地図 (Yahoo! MAPS) に対応し、プロアトラスが無くても一部の機能が使用できます。

ワードでQSLカードをデザインしよう

せっかく買ったパソコン、インターネットやログ管理だけではもったいない!!
ワードを使ってオリジナルQSLカードを作ってみませんか?

JF1TPRの あぁ、JUNKY人生

イーカゲンにマイクロ波も五年目。1.2Gから始めてついに47G=ミリ波に。
24G固定運用もようやく安定しました。でも、供養すべき半導体は、今年も多数あります。あぁ、石の霊が見える??

JG1UAAの「てきと～な日記」、JH1GFAの軍用無線機マニュアルなど、必見の記事満載です!!

SAGAMI-NETメンバーが執筆した本 絶賛発売中!

ウィンドウズパソコンの困った! 解決BOOK
インプレス社刊 チームA編著
¥980 (本体 ¥933 + 税)
ISBN 4-8443-1974-4

読める! いじれる! HTML入門
「ホームページ・ビルダー8編 オールカラーで楽しく学ぶ」
技術評論社刊 チームA著
¥1,869 (本体 ¥1,780 + 税)
ISBN 4-7741-2055-3





相模原市市制施行50周年記念



速報! 記念局コールは **8 J 1 I I O** に決定!!

記念アワードは限定100枚発行

神奈川県相模原市が平成十六年十一月二十日に市制五十周年を迎えるにあたり、相模原市在住、在勤のアマチュア無線局の有志により相模原市制五〇周年記念アワード実行委員会を設立し、各アマチュア無線に関する記念行事を行っている。

本年一月より市制五十周年のPRを兼ねて記念QSLカードの発行を行っている。

このQSLカードは十一月より発行する記念アワードに有効で、当初三万枚を発行したが、発行協力局のおかげで枚数が不足してしまい、さらに一万枚の増刷を行って現在も発行を続けている。

なおハムフェア会場内の相模原市役所AMCブース(C・O・O)にて一〇〇枚七〇〇円で頒布を行っている。また「ハム月販相模原店」にて販売を行っているので、発行にご協力頂ける方は是非ご購入頂きたい。

十一月からは市制五〇周年記念アワードの発行を行う。本アワードは市長の公印が押された賞状のアワードで「あじさい賞」、「ひばり賞」各五〇枚、合計一〇〇枚の限定発行となっている。どちらの賞も枚数が限定のため、申請者多数の場合は抽選となる。

記念局を開局して全国へPR

さらに実行委員会では昨年よりJARL神奈川県支部の協力で記念局の開局を計画している。現在記念局の申請中でコールサインは「8 J I I I O」を予定している。

このコールサインも当初はサガミの頭文字の「SGM」にしようという案もあったが、「I I I O」という相模原市のJCCナンバーを模したものとなった。なお、運用期間は市制記念月の十一月一日〜三十日、運用周波数帯はHF帯から1200MHz帯で、全国のアマチュア無線家への市制五〇周年PRを予定している。

記念アワード・ルール

- 発行者 :** 相模原市市制施行50周年記念アワード実行委員会 **協賛 :** 相模原市
- 受付期間 :** 2004年(平成16年)11月20日～ (限定数発行次第終了)
- アワードの種類と発行枚数 :**
- 相模原市長賞(あじさい賞) 50枚発行**
相模原市内運用局50局からQSLを得る。
記念QSLを1枚以上、または特別局QSLを含むこと。
記念QSLは1枚で5局(枚)、特別局QSLは10局(枚)に代用できる。
 - 相模原市長賞(ひばり賞) 50枚発行**
相模原市内運用局から得たQSLのテールレターでSAGAMIHARAと綴る。
記念QSLまたは特別局QSLを1枚につき何れか1文字に代用できる。
- その他 :**
- 1) 同一局との交信はバンド・モードを問わず1回限りとする。
 - 2) 昭和29年11月20日以降の交信から有効とする。
 - 3) クロスバンド、レピータ等による交信は無効とする。
 - 4) 記念QSL発行局、特別局は、市外運用も有効とする。
 - 5) 特別局QSLは、QSL到着前でもQSO実績があれば申請可とする。
 - 6) 申請多数の場合は消印日単位で抽選とする。
- 申請方法 :**
- 1) JARL様式申請書A + 700円(定額小為替)
申請先 〒229-8611 神奈川県相模原市中央2-11-15
相模原市役所アマチュア無線クラブ(生活衛生課 気付)
 - 2) お問い合わせは、申請先へSASEでの郵送(電話不可)または下記まで。
ホームページ <http://sagami50.ccsakura.ne.jp/>
電子メール sagami50@ccsakura.ne.jp

相模原市市制施行50周年記念局

8 J 1 I I O

運用期間

平成16年11月1日(月)
～11月30日(火)

運用周波数帯

HF帯～1200MHz帯
電話および電信モード

運用場所

相模原市内(予定)

運用等の詳細は…
右記ホームページにて!!
ケータイ版はコチラ→

